

山梨県立甲府工業高等学校全日制【機械科、電気科、電子科、建築科、土木科】

スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

「質実剛健」を校訓とし、「技術者となる前に人間となれ」を信条に教育活動を行っている。今後は超スマート社会及び持続可能な社会へと進展していく時代にあつて、産業界では新時代を主体的・創造的に生きていく資質や能力が必要になる。そのため、5学科(機械科・電気科・電子科・建築科・土木科)の専門的な教育を通して知識や技術・技能を身に付けさせるとともに、学校教育全体の中で次の資質・能力を身に付けた人材の育成を目指す。

- 1 社会が必要とする人間力を身につけた人
 - ①基本的な生活習慣を身につけ、規範意識のある人（社会性）
 - ②他者を思いやることができる人（道徳性）
 - ③自らの考えで正しい行動ができる人（主体性）
 - ④社会の一員としての自覚と責任をもち、社会に貢献できる人（社会貢献力）
- 2 基礎的・基本的な学力を身につけた人
 - ⑤主体的に対話ができ、学びを深めることができる人（アクティブ・ラーニング力）
 - ⑥基礎基本の上に専門的な知識や技術・技能を身につけた人（スペシャリスト）
 - ⑦資格取得・大会等に挑戦し、自分に自信がもてる人（自己肯定力）
 - ⑧コミュニケーション力（話すこと、聞くこと、書くこと、読むことができる人）
- 3 健全な心と強い体を身につけた人
 - ⑨部活動や委員会活動等に積極的に参加し、仲間と共に活動できる人（協調性・協働力）
 - ⑩自分の心と体と行動を自らの判断で管理できる人（自己管理能力）
 - ⑪安全面を第一に考えて行動ができる人（安全行動力）
- 4 新しい時代に対応できる能力を身につけた人
 - ⑫自ら課題を見つけ、その解決のために行動ができる人（課題解決力）
 - ⑬働くことの意味を理解し、行動できる人（勤労意識）
 - ⑭特に専攻科創造工学科では設計力を身につけた人（設計力）
 - ⑮ICT機器等の新たな技術を活用できる人（Society 5.0）

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

人間教育を最重点に「ものづくり・進学・部活」に力を入れて指導を行い、生徒自らが各分野で活躍できる場を見つけて成果を残し、夢の実現に向けて主体的に取り組むことができる教育活動を行う。

文部科学省指定のスーパー・プロフェッショナル・ハイスクール(SPH)事業(H29～R3)で培った指導方法や取組を活かし、各学科の特色ある学びを通して、技術者として必要となる知識や技術・技能の習得を推進していく。また、本県の工業教育の基幹校として、SPH事業及び専攻科創造工学科で得た指導や評価の方法等を他校に広めていく。

○各学科の指導内容

- 【機械科】自動車、電車、工場の機械、ロボットなど生活を豊かにする製品の仕組みや製造・加工方法を指導し、製造現場で技術者として活躍できる技術と技能を育成する。
- 【電気科】電気基礎理論、電力送配電、電気機器制御、太陽光・風力発電技術などを幅広く指導し、電力関連企業等で生産設備の管理技術者として活躍できる技術と技能を育成する。
- 【電子科】コンピュータ、ロボット、携帯電話、テレビなどを構成する電子回路やソフトウェア及びコンピュータネットワークなどの通信等を指導し、これらの製造及び検査の分野で技術者として活躍できる技術と技能を育成する。
- 【建築科】住宅から高層建築まで、様々な建築物の設計や構造・施工方法を指導し、この分野で技術者として活躍できる技術と技能を育成する。
- 【土木科】道路・鉄道・トンネル・橋・ダムなどの構造物を建設するための設計と測量等を指導し、建設現場で技術者として活躍できる技術と技能を育成する。

アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

中学校までの学習内容や基本的な生活習慣が身に付いており、学科の専門性に興味・関心を持って希望学科を自ら選択している。更に専門性を活かして産業界で活躍したいという強い意志があり、入学後は学習や部活動に熱心に取り組む意欲のある生徒を受け入れる高校。

スクール・ミッション

山梨県における工業教育の基幹校として、専門的な知識や技術・技能を身につけさせ、資質・能力の向上を図り、豊かな人間性を育み、ものづくり産業において主体的・創造的に活躍し、山梨、さらに日本を支える技術者を育成する学校を目指します。